

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス豊見城教室					公表日 令和7年 4月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思う点など	課題や改善すべき点		
環境・体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	7	0	・児童の特性に合わせて、リーディングトラッカー等の継続して使えるものを使用して支援を行っている。	・事前に授業内容を確認し、必要な道具を準備して支援を行います。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・職員を適切に配置し、なるべく多角的な視点からの支援が行えるようにしている。	・全体で話し合いをする機会を増やし、職員全体で児童の把握を強化していきます。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・日々のミーティングの際や訪問後に職員間で共有する時間が設けられている。また、月に一度ケース会議を行っている。	・勤務時間の異なる職員や、パートの方へも共有できるように議事録を作成しています。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者向けの評価表をお渡しする際、時間を確保して貰い意見等を聞き取りしている。それを職員間で情報共有し随時検討することで業務改善につなげている。	・報告に要する時間が、保護者のご都合等へ配慮しているかどうか、随時確認するように致します。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・日々のミーティングの際や訪問後に職員間で共有する時間が設けられている。また、月に一度ケース会議を行っている。	・多角的な支援が行えるように、意見を言いやすい環境づくりに努めます。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・こどもプラス本部からの研修や、市の研修へ参加している。	・月に1度の職員面談で、受けた研修の有無を確認し、自己研鑽できる機会を確保できるように努めます。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7	0	・こどもプラス本部からの研修や、市の研修へ参加している。 ・ケース会議の際に、保護者の意見や職員全員の意見を踏まえて保育所等訪問支援計画を作成している。	・児童発達支援管理責任者や訪問支援員だけではなく、より多くの職員が保育所等訪問支援計画の確認をするように致します。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・保育所等訪問支援計画の更新時に、個別支援会議を開催し随時検討している。	・児童発達支援管理責任者だけではなく、より多くの職員が保育所等訪問支援計画の確認をするように致します。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	1	・訪問先のご意見を聞きながら支援を行っているが、連携した保育所等訪問支援計画はもっと必要だと感じる。 ・作成する際は、関係機関と会議を行っている。	・訪問先施設の意見を取り入れ、より良い保育所等訪問支援計画の作成に努めます。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・保育所等訪問支援計画を確認しながら支援を実施している。	・管理者や児童発達支援管理責任者が、訪問報告書をもとに、計画に沿った支援が行われているかどうかを、漏れなく確認するように努めます。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・アセスメントシートや訪問報告書を用いて適切に実施している。	・現時点で課題等はないが、より良い方法がないかを常に検討しながら実施致します。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・保育所等訪問支援計画書にいくつか抽象的な内容がある。	・随時具体的な支援内容に変更して参ります。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・保育所等訪問支援計画は作成時に、朝礼や終礼で情報共有し、計画に沿った支援を行っている。	・現時点で課題等はないが、より良い方法がないかを常に検討しながら実施致します。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・前回の記録を振り返りながら、今回はどのように支援をしていくのかを話し合っている。	・継続してチームで連携が取れるように致します。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・一人の児童に対して最低二名の担当を配置している。別の職員が訪問する際にも必ず事前共有を行っている。	・次回訪問時に繋がるような振り返りができるように努めます。		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7	0	・訪問先の理念を事前に確認したり、支援方法を否定したりせず尊重した上で支援を実施している。	・継続して支援を実施致します。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7	0	・毎回訪問記録を作成し、訪問先や保護者と共有している。	・継続して記録をとり、支援の検証や改善に努めます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・モニタリングの際には、保育所等訪問の担当職員も同席し、事業所での様子と合わせて学校での様子も共有している。	・今後も適切な見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・管理者、児童発達支援管理責任者、または保育所等訪問の担当者など、会議前に適した職員を選抜して参加をしている。	・今後も会議の参加者は事業所にて吟味して決定いたします。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・必要に応じて、病院受診の際には支援員の評価を医師へ提示してもらい、受診後には医師より支援方針の意見をもらっている。	・年度の節目や担当者が変更になった際、ご挨拶に伺い常に連携して支援を行うように努めます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・小学校高学年から中学生までが在籍をしている為、中学校進学の際に会議を行い移行支援を行っている。	・継続して支援を実施致します。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	1	・毎月こどもプラス本部からの研修を受けている。 ・事業所内の専門スタッフより助言をもらいながら支援を行っている。 ・外部研修の参加は限られている。	・外部研修について、会社からの情報提供のみならず、各職員からの情報を集めながら積極的に研修を受けられる環境を作って行けるよう努めます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	0	・法人の代表代理が自立支援協議会のメンバーである為、管理者を通して各事業所へ情報を共有している。	・日程調整して必要に応じて積極的に参加できるように努めます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時の申し送りの際や、公式LINEまたは電話にて情報共有を行っている。	・保護者へ伝える際は、ご理解いただけたかどうかの確認を怠らないように努めます。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・研修がある際には、送迎時の対面や公式LINEを使用し保護者へ情報を発信している。	・参加したかどうかを確認し、フォローアップまで行うように致します。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・サービスを利用する際に、契約の時点で行っている。	・質問や不明な点が無いか確認しながら、丁寧に説明を行います。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7	0	・毎年、訪問支援の目的を口頭と書面の両方にて説明を行った上で実施している。	・質問や不明な点が無いか確認しながら、丁寧に説明を行います。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・サービスを利用する際に、事前に聞き取りを行い、こどもや保護者の視点を取り入れた上で保育所等訪問支援計画を作成している。	・訪問報告書を手渡しする際や、事業所での活動中など、その都度意向を確認する機会を意図的に作るように致します。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	7	0	・保育所等訪問支援計画作成時に保護者へご説明し、署名と印鑑をいただいている。	・今後も漏れなく同意を得て支援を実施致します。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・訪問に入った際に、児童の様子を伝えながら必要に応じて居宅訪問を行っている。	・保護者から困り感の引き出し方に気を付けて、安心してお話しいただけるように致します。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	・保護者会を通して交流を行っている。	・保護者会においては、多くの保護者に参加してもらえる内容や実施時期を検討致します。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・保護者より相談の申し入れがあった際には、直近の一週間以内に日程を調整して相談日を設けている。また、事前に相談内容が分かる際には必要な資料を用意して対応をしている。	・保護者からの相談の申し入れが無くても、職員から困り感や不安感の確認・声掛けを行います。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・電話や公式LINEを活用し保護者へ共有を行っている。	・毎月発行されている通信内で保育所等訪問について取り上げているので、内容を読んでもらえるように周知致します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・保護者と話をする際には、個別の部屋や自宅にて話し合いを持ち、周りに情報が漏れないようにしている。	・引き続き対象児童のみならず、他児童の身体名を出さない等の対応をしながら個人情報に留意致します。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・相手が不快にならねない言動には配慮している。	・お話しする場所やタイミングには極力配慮するように致します。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7	0	・相談がある際にはなるべくすぐにお答えできるようにし、内容によっては一度持ち帰り、職員でケース会議を行ってから訪問先へお伝えしている。	・訪問担当を固定し、先生方が話し掛けやすい体制を整えます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7	0	・授業担当の先生によっては、授業直後の話が難しい場合もある為、各先生に合わせたカンファレンスを行っている。	・訪問先の意向に合わせてカンファレンスを行っています。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7	0	・訪問報告書を用いて共有を行っている	・訪問報告書の内容に不明点がないかを確認しながら共有を行います。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・訪問先でお会いする方への関わり方や、話す内容について気を付けている。	・訪問から戻ってきてら、持ち物の確認など怠らないよう留意致します。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	7	0	・訪問前後での挨拶や先生へのお声かけをしながら訪問を行っている。助言が必要な際には端的に伝えられるようにし、訪問先の負担が無いように配慮している。	・気軽にご意見や相談をいただけるよう、関係性を築きながら訪問を行います。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・事業所内で各マニュアルを作成している。訪問先のマニュアルも確認を行い、事業所内で非常時等を想定して訓練を行っている。	・実施内容の周知を積極的に行います。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・事業所内では安全計画を作成し、研修を行っている。	・学校訪問時の災害等については、学校の規定に従って対応致します。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットが起こった際には記録として残し、事業所内で共有を行っている。	・ヒヤリハットが起こる前に、危険な場所や道具が無いかな等、環境面の確認を行います。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・研修やケース会議を行っている。	・定期的に研修内容を振り返り、職員間でしっかりと虐待防止に努めます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・訪問先の先生方とも情報共有し、個別支援計画書に記載しています。	・保護者や訪問先の先生だけでなく、本人にも自己決定してもらえような段取りで、個別支援計画書に記載しております。